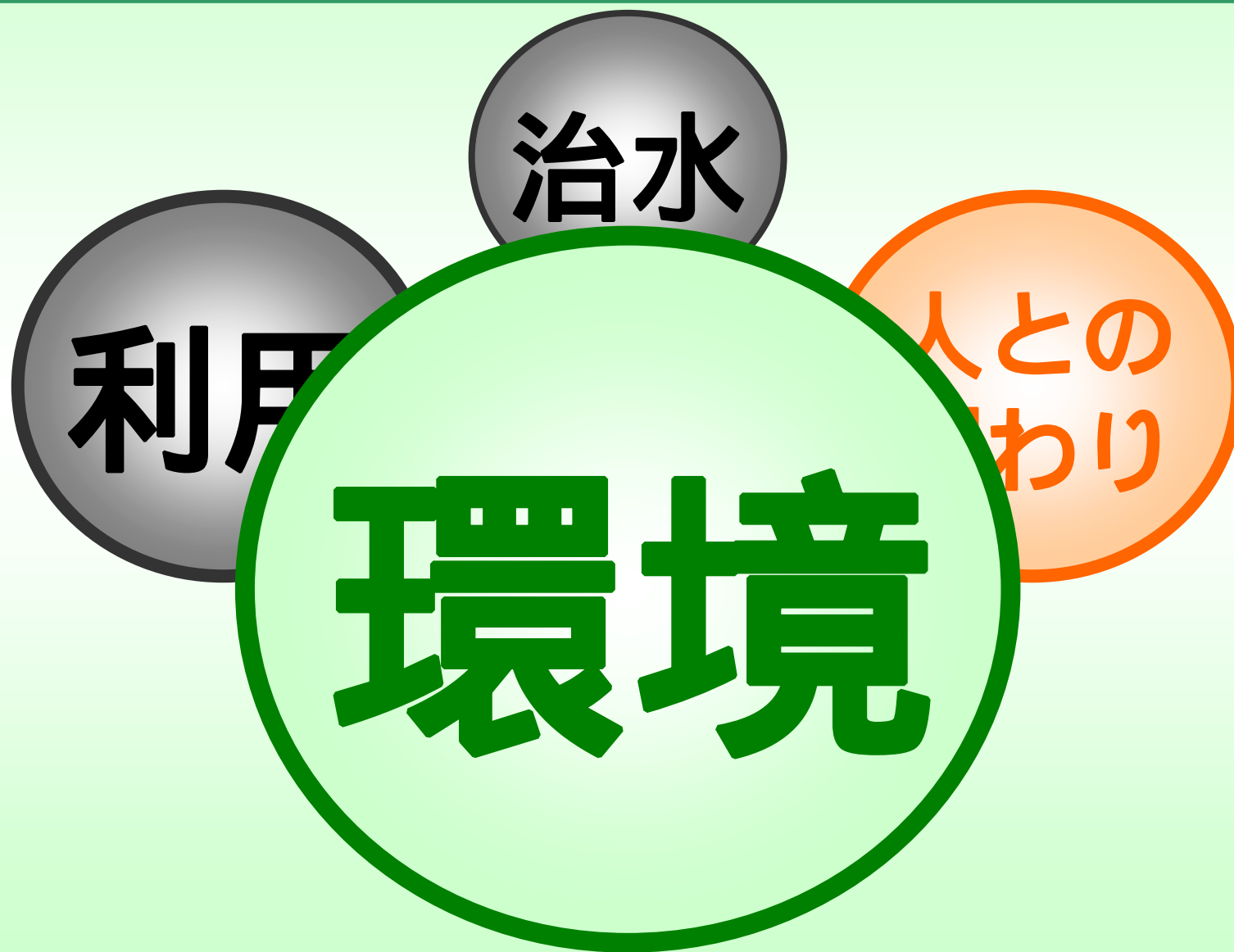


### 3 . 河川環境に関する現状と課題



巴川水系の河道特性について整理しました。



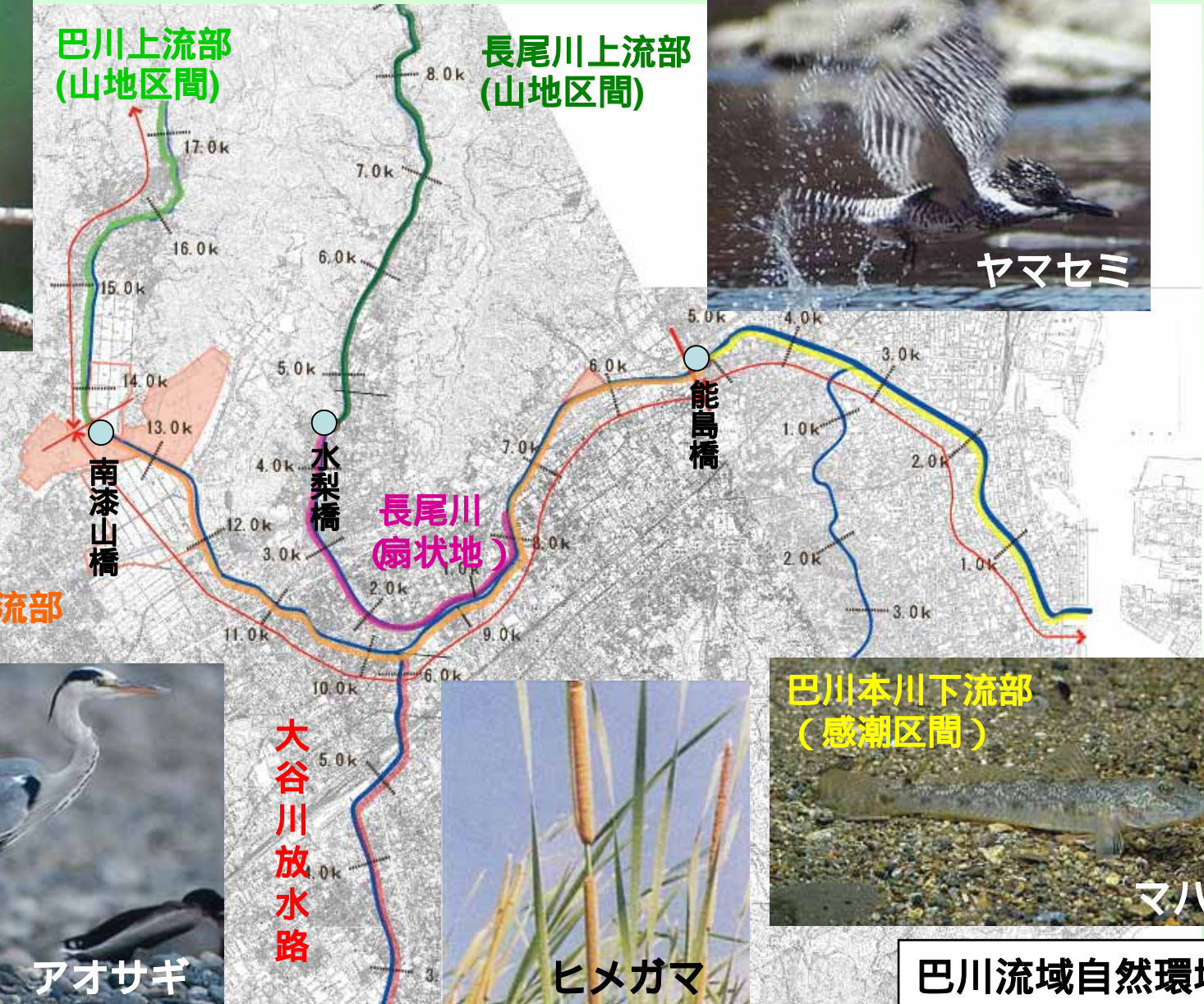
巴川水系の代表的な動植物を整理しました。



オオルリ

巴川上流部  
(山地区間)

長尾川上流部  
(山地区間)



ヤマセミ



ヨシ

巴川本川中流部  
麻機遊水地



アオサギ

大谷川  
放水路



ヒメガマ

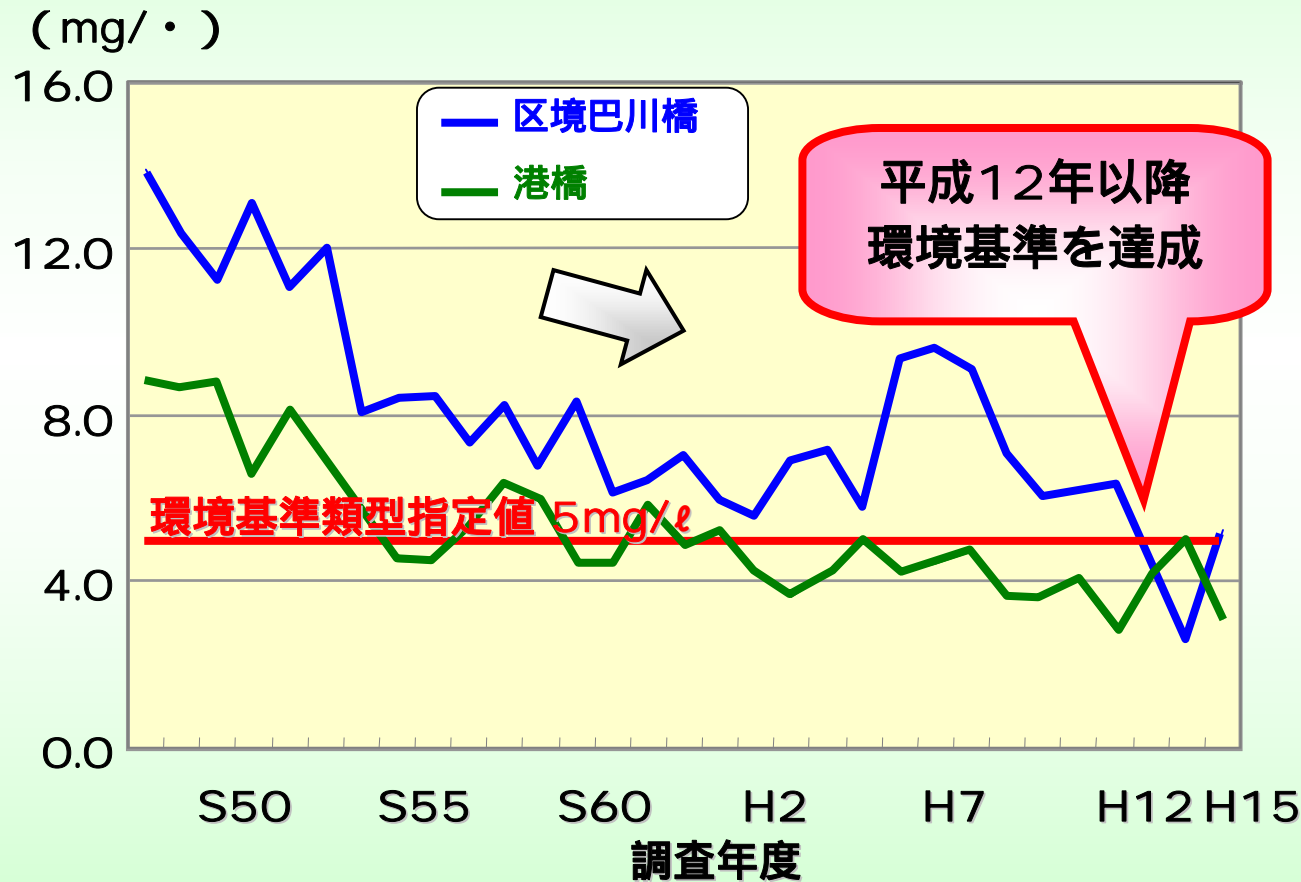


巴川本川下流部  
(感潮区間)

マハゼ

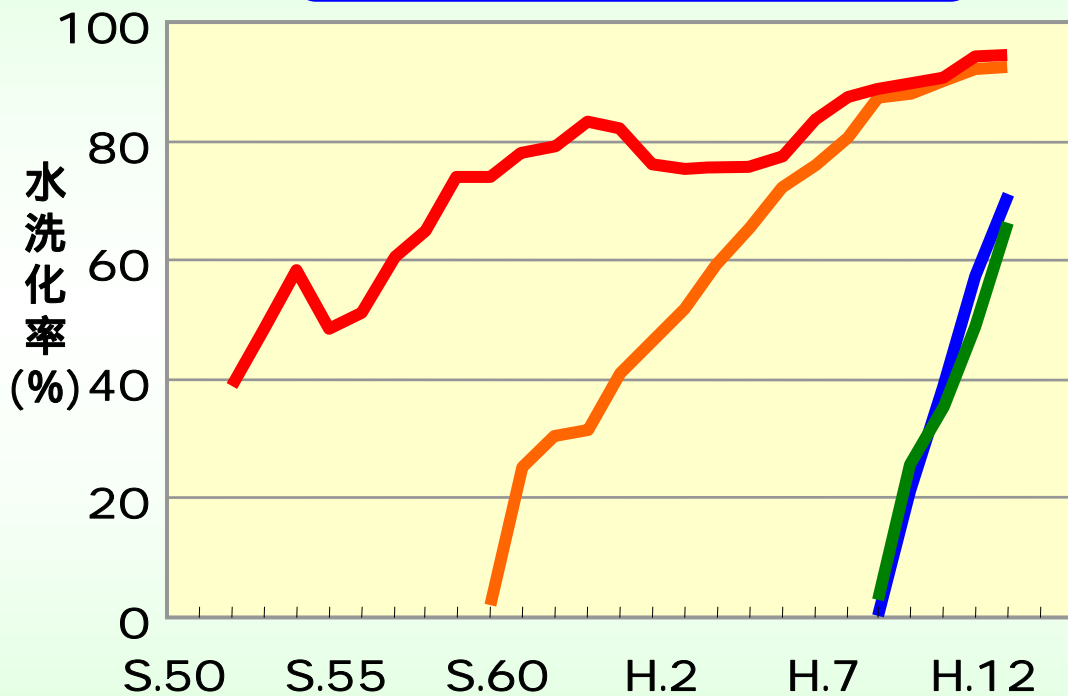
巴川流域自然環境図

巴川の環境基準はC類型（環境基準類型指定値の5mg/ℓ）に指定、水質は改善傾向にあります。



流域では、下水道の整備により河川への負担軽減に努めています。河川では、河床のヘドロを浚渫し水質改善を図っています。

水洗化率の経年変化



- 城北処理区
- 中島処理区
- 静清処理区1-1
- 静清処理区1-2

巴川流域内の水洗化率(人口)は  
約**70.5%**(H17年度末時点)



浚渫浄化事業  
S.47 ~ H.16

遊水地第4工区では、土壌に環境基準を超えるダイオキシン類が検出され、専門家を交え対策を検討しています。



専門家による現地調査



対策検討委員会の開催



- 水域において底質環境基準(150pg-TEQ/g)を超える区画
  - 底泥のみが超過する区画
  - 底泥および下部の人工地盤が超過する区画
- 陸域において土壌環境基準(1000pg-TEQ/g)を超える区画
  - 下部の人工地盤が超過する区画
- 陸域において土壌要監視基準(250pg-TEQ/g)を超える区画
  - 下部の人工地盤が超過する区画

麻機地域や支川最上流部には、貴重な自然環境が残され、それを保全し、守り伝えることが求められています。

都市近郊に残された貴重な自然  
(麻機遊水地第4工区)



長尾川起点付近



麻機遊水地自然再生協議会の開催



浅畑川の多自然型川づくり



流域の河川は、災害復旧工事や住宅地の開発に伴って、治水最優先でコンクリート護岸が整備され、河川の魅力が低下しています。



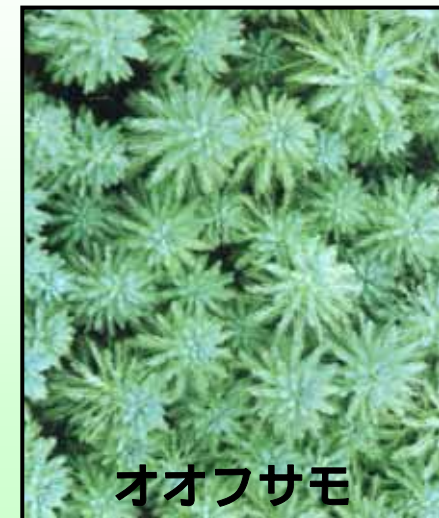


巴川流域の本来の生態系に、悪影響を与える「外来生物」が流域内に広がりつつあります。

巴川水系で確認されている「特定外来生物」

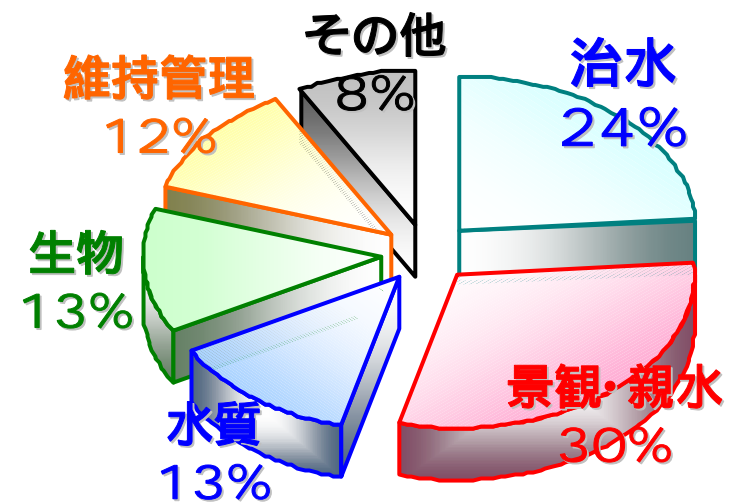
**植物** アレチウリ（巴川、大沢川、麻機遊水地）  
オオフサモ（大谷川放水路、麻機遊水地）  
ナガエツルノゲイトウ（巴川）  
オオキンケイギク（長尾川）

**魚類** カダヤシ（大谷川放水路）  
オオクチバス（大谷川放水路）  
ブルーギル（大沢川、大谷川放水路）  
カルムチー（麻機遊水地）



河川が本来持つ自然環境は、地域の貴重な共有財産であると再認識されつつあり、さらに豊かな自然環境の創出・再生が望まれています。

意見交換会の意見分類



意見交換会 主要な意見

「生物や植物の多い川にしてほしい...」

「ホテルが住めるきれいな川にしてほしい...」

「子どもと一緒に遊びたい...」

残された貴重な自然環境を保全し、守り伝えることが求められているが、護岸整備などにより、低下した河川の魅力を取り戻すことが必要である。

課題を解決するためのキーワード

**学識者との連携**（自然再生、ダイオキシン類対策）

自然環境に対する**流域（上下流）一環の取組み**

市民、団体、企業、行政などとの**ネットワーク化**

河川に対する**要望の収集と適切な情報の発信**

巴川流域麻機遊水地**自然再生**構想・実施計画



自然再生協議会での現地視察